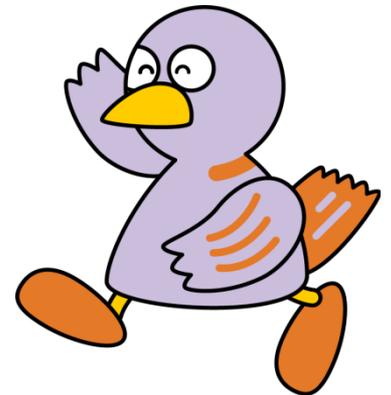


埼玉県の財政状況と 起債運営の基本的な考え方

平成26年10月27日

県勢概要

～埼玉のポテンシャル～



埼玉県マスコット「コバトン」

埼玉県のすがた ～人口・産業・交通 ポテンシャルが高い～

- 720万の人口はスイスに匹敵・・・生産年齢人口比率、平均年齢とも全国屈指の若い県
- 多種多様な産業が集積し、20兆円の名目GDPはフィンランドやポルトガルに匹敵
- 利便性の高い交通網や災害リスクの低さも本県の魅力

総人口 約720万人(全国5位)

出典 平成22年総務省「国勢調査」

1	東京都	1,316万人
2	神奈川県	905万人
3	大阪府	887万人
4	愛知県	741万人
5	埼玉県	720万人

製造品出荷額 約11.7兆円(全国7位)

出典 平成25年経済産業省「工業統計調査」

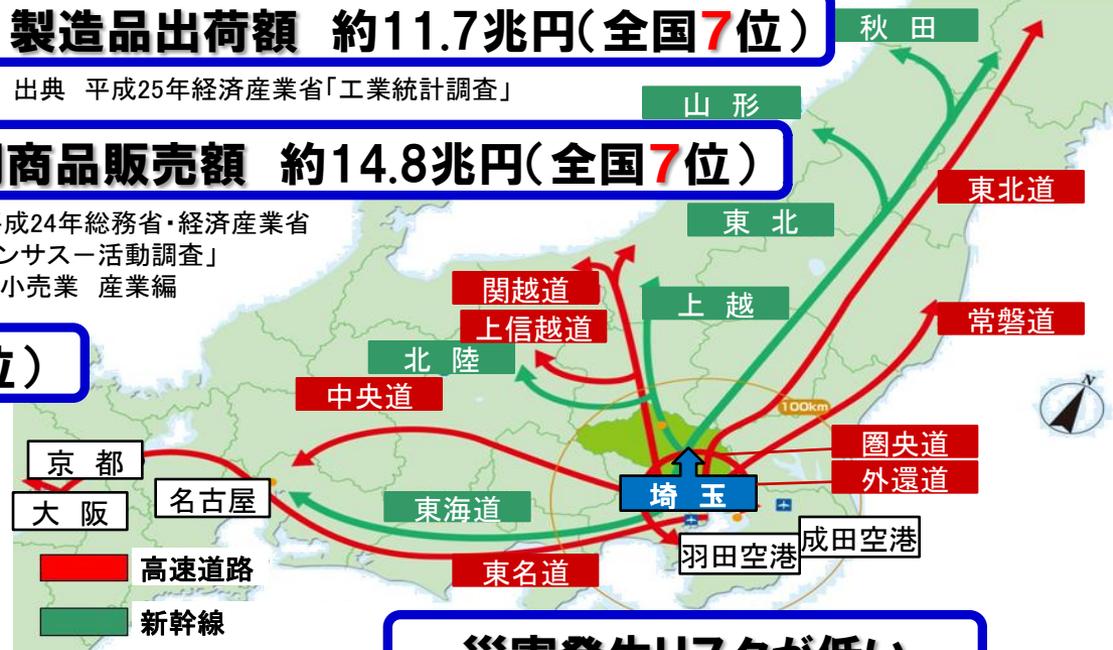
年間商品販売額 約14.8兆円(全国7位)

出典 平成24年総務省・経済産業省
「経済センサスー活動調査」
卸売業・小売業 産業編

県内総生産 約20.4兆円(全国5位)

出典 平成23年度内閣府「県民経済計算」

1	東京都	92.4兆円
2	大阪府	36.6兆円
3	愛知県	31.9兆円
4	神奈川県	30.4兆円
5	埼玉県	20.4兆円



日本一の交通の要衝

- 東北・上越など5つの新幹線で東日本の主要都市に直結
- 東日本の大動脈「東北」・「関越」・「常磐」自動車道が南北に縦断
- 首都圏の高速道路を結ぶ「外環道」・「圏央道」が東西に横断

災害発生リスクが低い

南海トラフ地震被害想定
建物被害(液状化、津波等)

埼玉県
700棟

東京都
2,400

神奈川県
4,000

千葉県
2,400

出典 平成24年8月「中央防災会議」(各都府県で全壊棟数が最大となるケース)

海岸線延長距離

埼玉県
0km

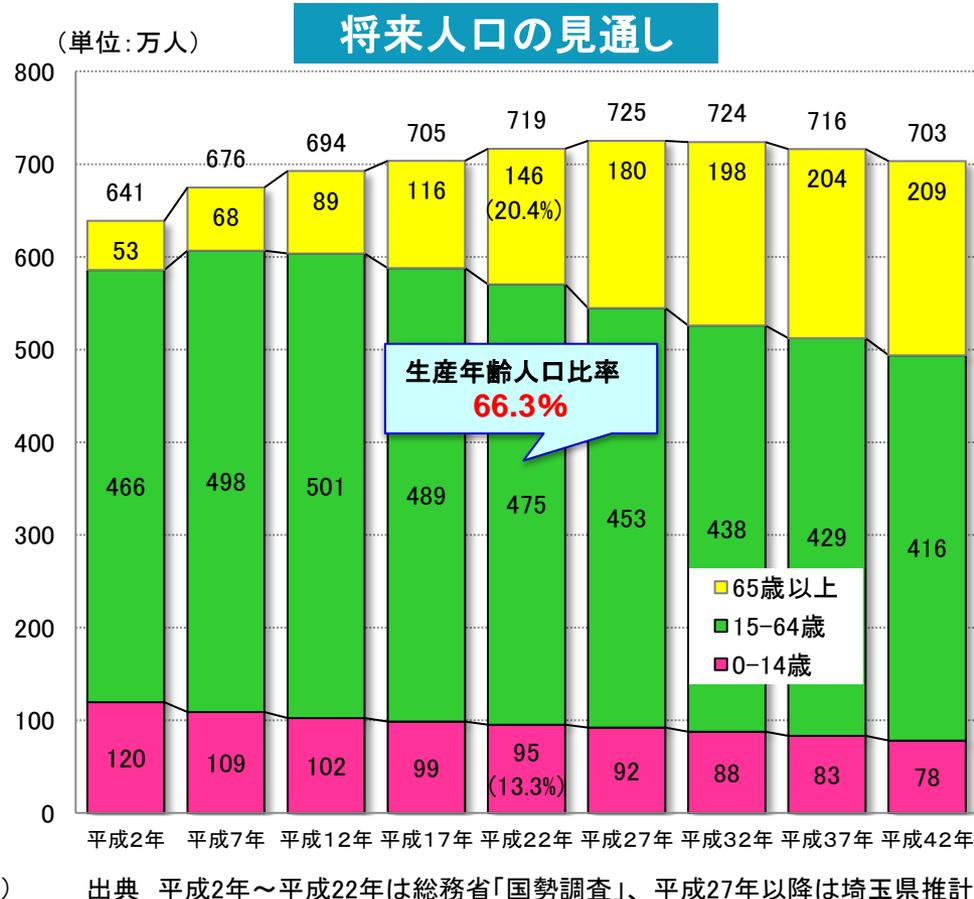
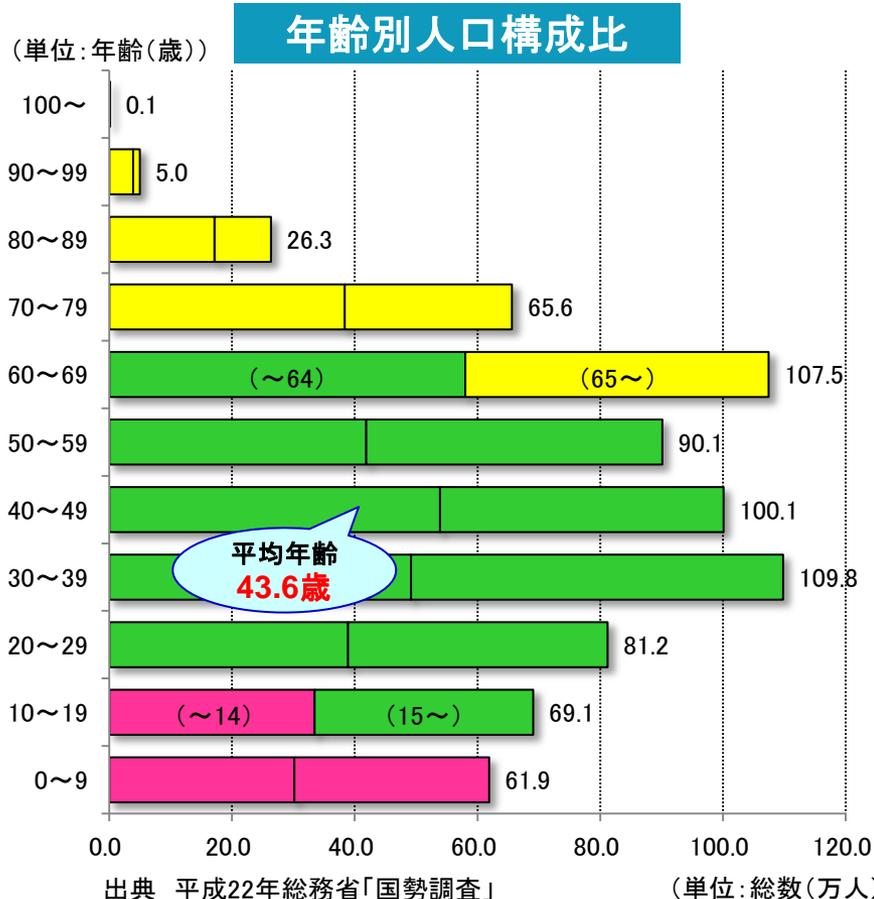
東京都
762

神奈川県
428

千葉県
534

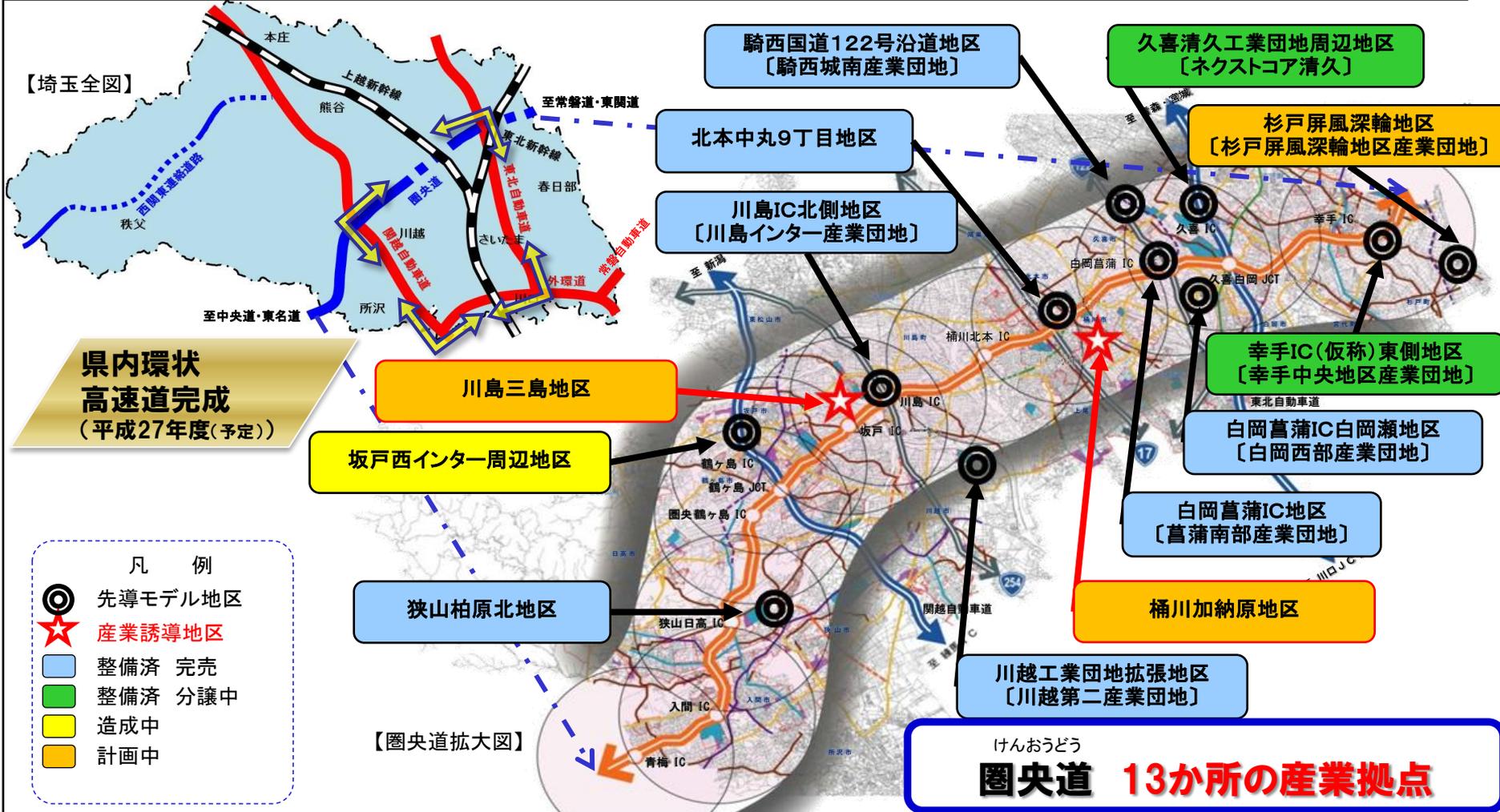
さらなるポテンシャルの高まり① ~若くて労働力が豊富~

- 生産年齢人口割合**66.3%**(全国**3**位) 平均年齢**43.6歳**(全国**5**位)
- 人口は**平成27年**まで増加、平成42年においても700万人を維持する見通し
- 平成26年9月1日現在 推計人口 723万6千人
前年同月比14,764人(0.20%)の増加(内訳:自然増減▲3,604人、社会増減+18,368人)



さらなるポテンシャルの高まり② ~首都圏の物流を変える~

- 圏央道の県内区間が開通すると、東北道から東名高速までスムーズに移動・運搬
- このチャンスを活かし、13か所の産業拠点を順次整備



さらなるポテンシャルの高まり③ ～メイドイン埼玉で経済をより強く～

- 大規模工場とそれを支える中小企業が幅広く発達し、多種多様な業種が集積
- 個々の企業の立地ニーズにきめ細かく対応し、全県を挙げて企業立地をバックアップ
- 直近の調査における10年間の**企業本社転入超過数全国1位**

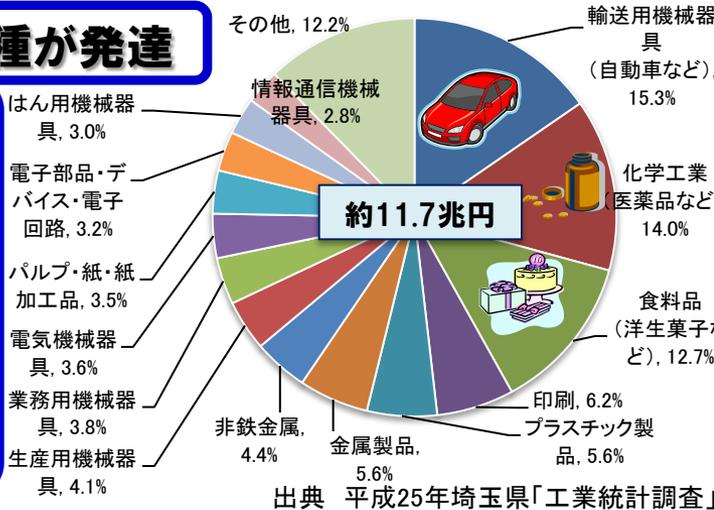
本県の産業分類別製造品出荷額等の構成比

多種多様な業種が発達

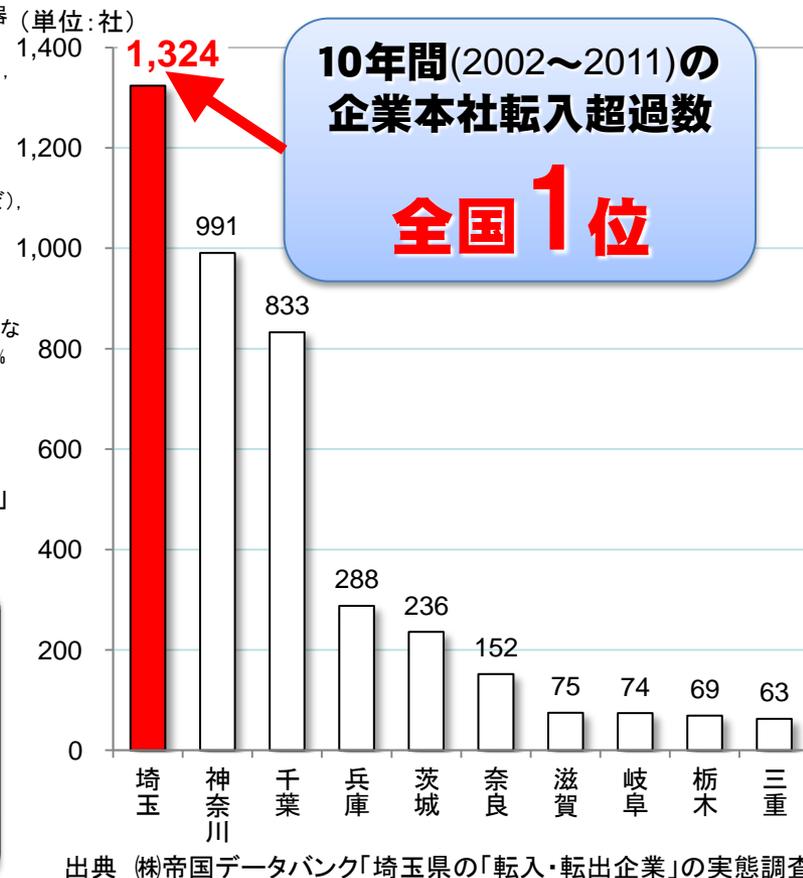
全国有数の工業県
～ホンダ、UDトラックスなどの大規模工場とサポートする中小企業

全国1位の医薬品
出典 平成24年厚生労働省「薬事工業生産動態統計」

全国1位の化粧品
出典 平成24年経済産業省「化学工業統計」



10年間の全国の転入・転出企業の状況



埼玉県の企業誘致の取組(平成17年1月～平成26年6月)

ワンストップでクイック

個々の企業のオーダーメイド

補助金や融資制度

強かにバックアップ

誘致件数 741件
(ホンダ、江崎グリコ、キッコーマンなど)

投資総額 1兆770億円

新規雇用 24,000人
(立地企業の計画ベース)

さらなるポテンシャルの高まり④ ～次世代産業・先端産業の創造～

- 我が国を代表する研究機関や大学が集積し、**高度な技術を有する人材が豊富**
- 県内における先端産業育成へ向け**埼玉県・産総研・NEDO**による**三者協定を締結**
- 次世代産業分野への進出支援や雇用の創出のため、100億円規模の**「埼玉県産業振興・雇用機会創出基金」を設置**

約300の研究機関・大学が集積

- 産学官連携の共同研究を進める**「埼玉県産業技術総合センター」**や国際的研究機関である**「理化学研究所」**など250超の研究機関が集積
- 「埼玉大学」「早稲田大学」「芝浦工業大学」**など本県にキャンパスをおく大学は全部で59校



次世代産業・先端産業の支援

- 先端産業育成へ向け、**埼玉県・(独)産業技術総合研究所・(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)**による**三者協定**を締結
- 次世代産業分野への進出支援や雇用の創出のため、**100億円規模の「埼玉県産業振興・雇用機会創出基金」**を設置
- 県内への先端産業集積に向け、**「先端産業研究サロン」**を設置・運営し、先端産業の実用化開発を支援



さらに進む大学・研究機関の開設

- 北の玄関口・本庄市の**「早稲田リサーチパーク」**には**「早稲田大学情報系大学院及び環境系大学院」**が開設
- 南の玄関口・川口市の**「SKIPシティ」**には**「産業技術総合センター」**、**「彩の国ビジュアルプラザ」**などの映像関連施設がオープン



さらなるポテンシャルの高まり⑤ ～チャンスあふれる埼玉の実現～

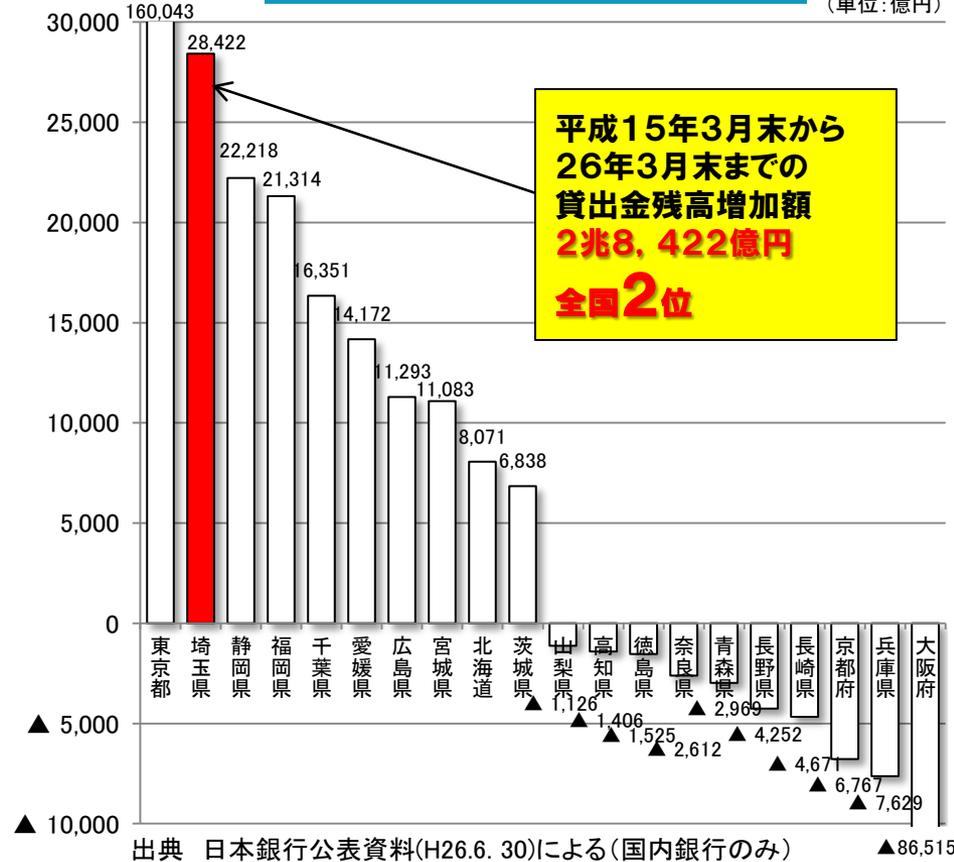
- 安心感とスピード感のある中小企業融資の実行
民間の効率性と行政の信頼性を融合させた制度融資改革を実現
- 過去11年間で貸出金残高が2兆8,422億円増加(全国2位)

無担保・第三者保証人なし融資の割合(左軸)
と県制度融資実績の推移(右軸)



銀行貸出金残高の増加額

(単位: 億円)



出典 日本銀行公表資料(H26.6.30)による(国内銀行のみ)

さらなるポテンシャルの高まり⑥ ～意外と強い農業県埼玉～

- 農業産出額は2,012億円(対前年比+45億円)、直近7年間の伸び率は全国5位
- 日本の人口の「3分の1」を占める巨大なマーケット(首都圏)に位置するという強みを生かして**力のある 農林業を実現**

主要農産物の産出額(平成24年)

野菜 982億円(全国6位)

品目	産出額	全国順位
さといも	64億円	1位
こまつな	53億円	1位
ねぎ	161億円	2位
きゅうり	137億円	2位
ほうれんそう	122億円	2位
ブロッコリー	43億円	2位
かぶ	16億円	2位
はくさい	17億円	3位

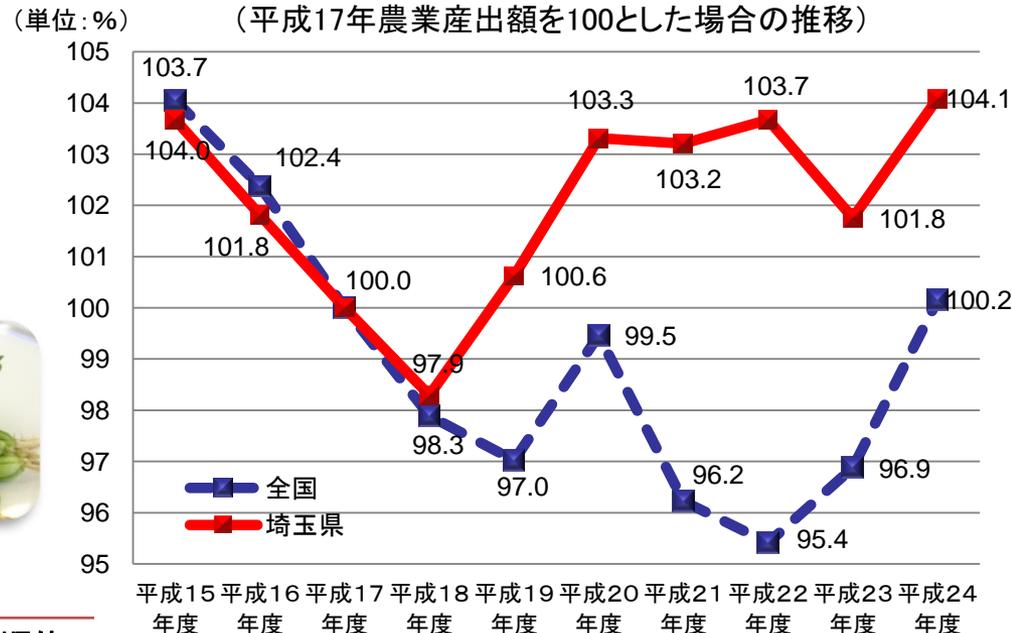


花き 172億円(全国4位)

品目	産出額	全国順位
ゆり(切花)	35億円	1位
パンジー(苗)	7億円	1位
チューリップ	6億円	2位
洋ラン類(鉢物)	23億円	3位



埼玉県と全国の農業産出額の推移



出典 農林水産省「農林水産統計データ」

日本酒の出荷量 全国4位! (平成24年)
平成22年の7位から躍進



埼玉県の財政状況

埼玉県の財政規模 ～安定した自主財源と将来への備え～

- 財政規模(平成25年度普通会計歳出決算額)は2年連続増加し、1兆6,334億円
- 人口規模(全国5位)、経済規模(全国5位)に対してコンパクトで無駄のない予算
- 全国で上位の財政力と基金の下、安定した財政運営を実現

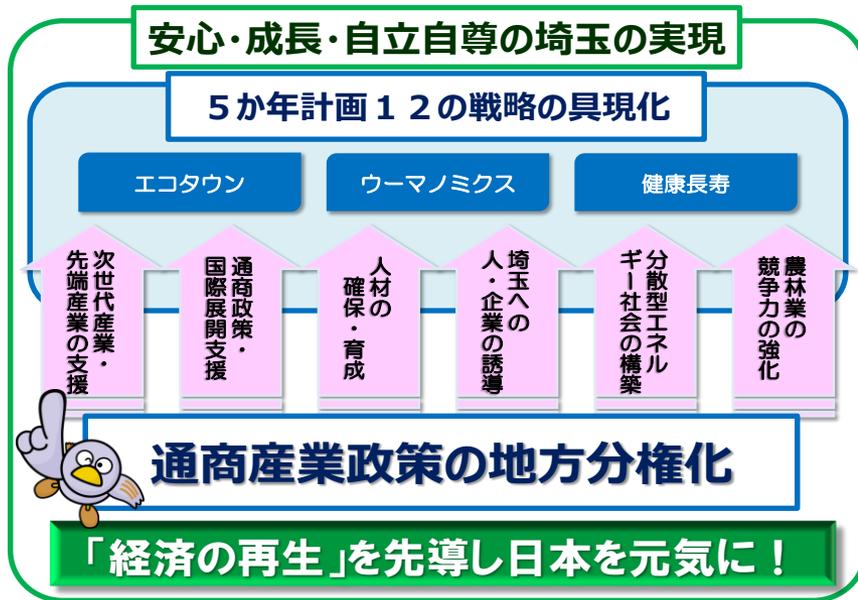
財政規模(歳出決算額)	財政力指数	財政調整基金+減債基金残高	基金残高合計
1兆6,334億円 (+87億円)	0.74636 (+0.01371)	754億円 (△54億円)	1,824億円 (△70億円)

※平成24年度決算の他県比較

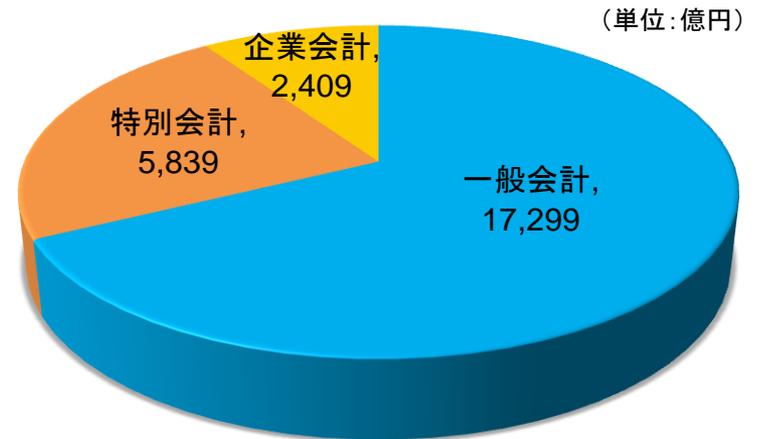
順位 (H23)	都道府県 名	金額	順位 (H23)	都道府県 名	数値	順位 (H23)	都道府県 名	金額	順位 (H23)	都道府県 名	金額
1	(1) 東京都	6兆418億円	1	(2) 愛知県	0.92574	1	(1) 東京都	4,179億円	1	(1) 東京都	1兆3,801億円
2	(2) 大阪府	2兆7,515億円	2	(3) 神奈川県	0.89979	2	(2) 大阪府	2,022億円	2	(2) 福島県	8,942億円
3	(3) 北海道	2兆4,612億円	3	(1) 東京都	0.86449	3	(3) 愛知県	1,082億円	3	(3) 宮城県	4,767億円
4	(6) 愛知県	2兆1,290億円	4	(4) 千葉県	0.74513	4	(4) 埼玉県	808億円	4	(4) 大阪府	3,453億円
5	(5) 兵庫県	2兆299億円	5	(5) 埼玉県	0.73265	5	(6) 静岡県	642億円	5	(5) 岩手県	3,133億円
6	(7) 神奈川県	1兆8,915億円	6	(6) 大阪府	0.71737	6	(5) 岩手県	624億円	6	(6) 愛知県	2,144億円
7	(8) 宮城県	1兆8,278億円	7	(7) 静岡県	0.66723	7	(9) 奈良県	533億円	7	(7) 埼玉県	1,894億円
8	(10) 埼玉県	1兆6,248億円	8	(8) 茨城県	0.59309	8	(14) 宮城県	528億円	8	(9) 静岡県	1,455億円
9	(9) 千葉県	1兆5,911億円	9	(9) 兵庫県	0.58398	9	(26) 福島県	525億円	9	(13) 奈良県	1,365億円
10	(4) 福島県	1兆5,773億円	10	(10) 福岡県	0.57224	10	(17) 栃木県	523億円	10	(10) 北海道	1,363億円

平成26年度当初予算 ～次世代創出予算～

- 5か年計画における12の戦略に係る施策に限られた財源を重点的に配分し編成
- 全会計当初予算の規模は、2兆5,547億円(対前年度比4.0%増)
- 一般会計当初予算の規模は、平成20年度以来6年ぶりに1兆7,000億円台



会計別の内訳



当初予算額の推移

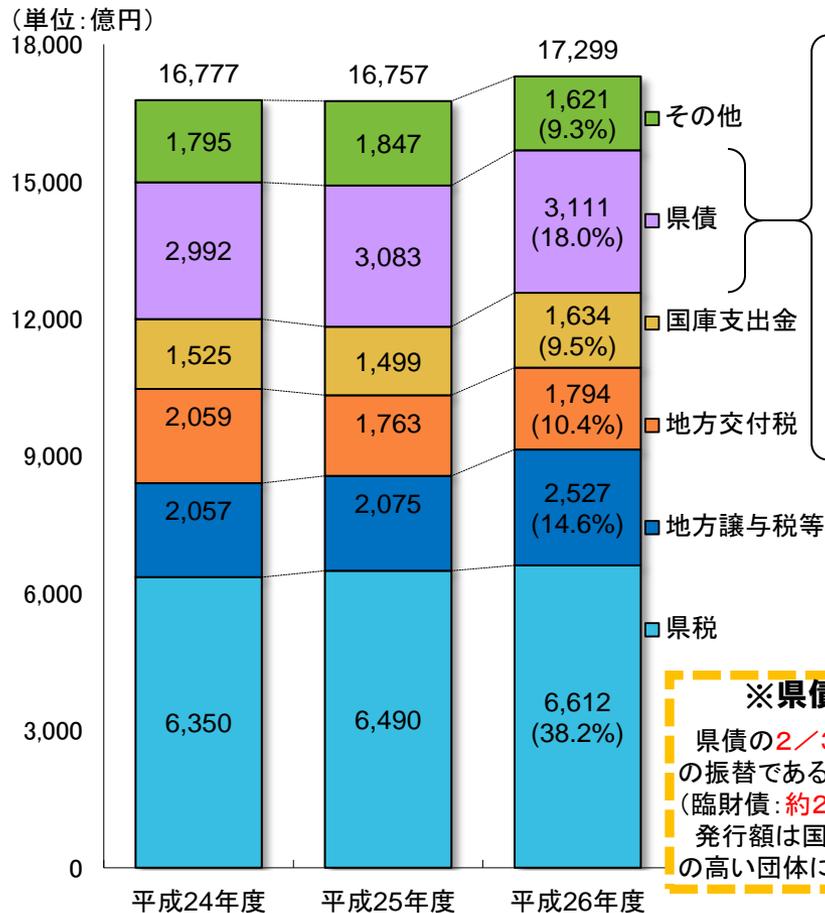
(単位: 億円)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
一般会計 当初予算額	16,366	16,832	17,109	17,182	16,960	16,764	16,899	16,777	16,757	17,299
伸び率 (%)	▲3.3	2.8	1.6	0.4	▲1.3	▲1.2	0.8	▲0.7	▲0.1	3.2

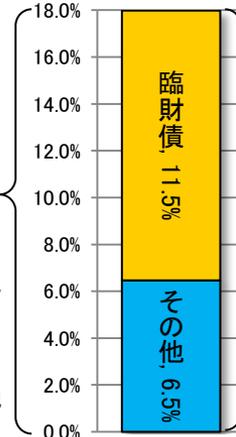
平成26年度一般会計予算(歳入)

- 地方税、地方譲与税、地方交付税などの一般財源1.3兆円(74.7%)は前年同水準確保
- 県内経済、人口を背景に**安定した財源を確保**

歳入予算の推移

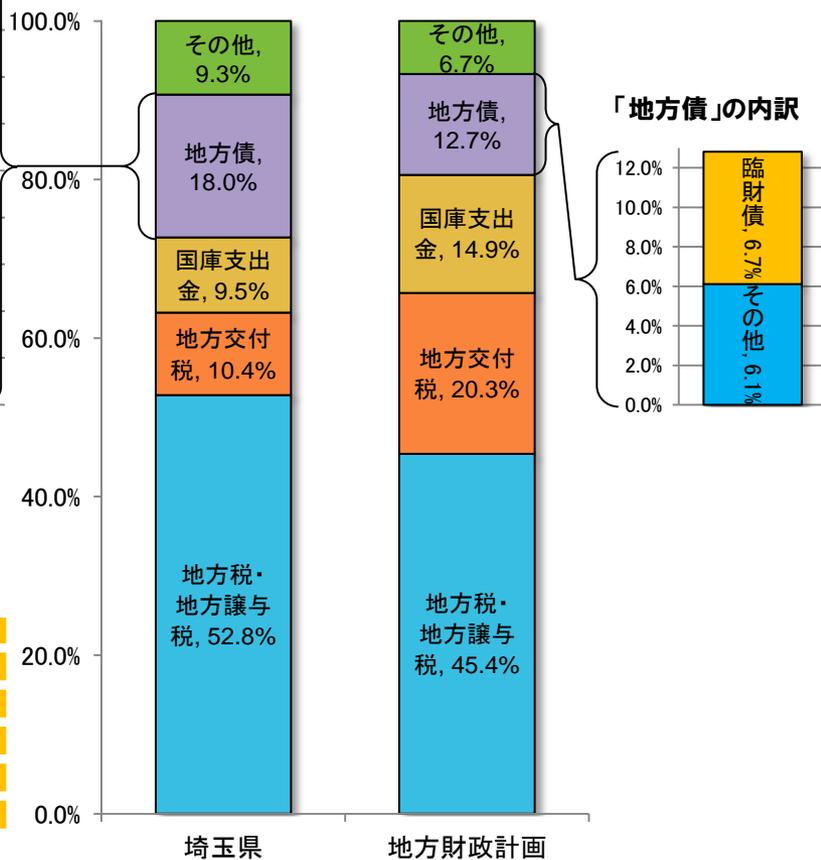


「県債」の内訳

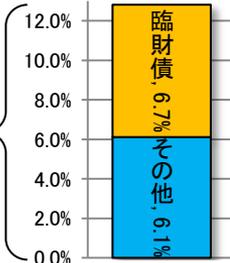


※県債について
 県債の2/3は、地方交付税の振替である臨時財政対策債(臨財債: 約2,000億円)
 発行額は国が算定し、財政力の高い団体に多く配分される

地方財政計画と歳入構造の比較

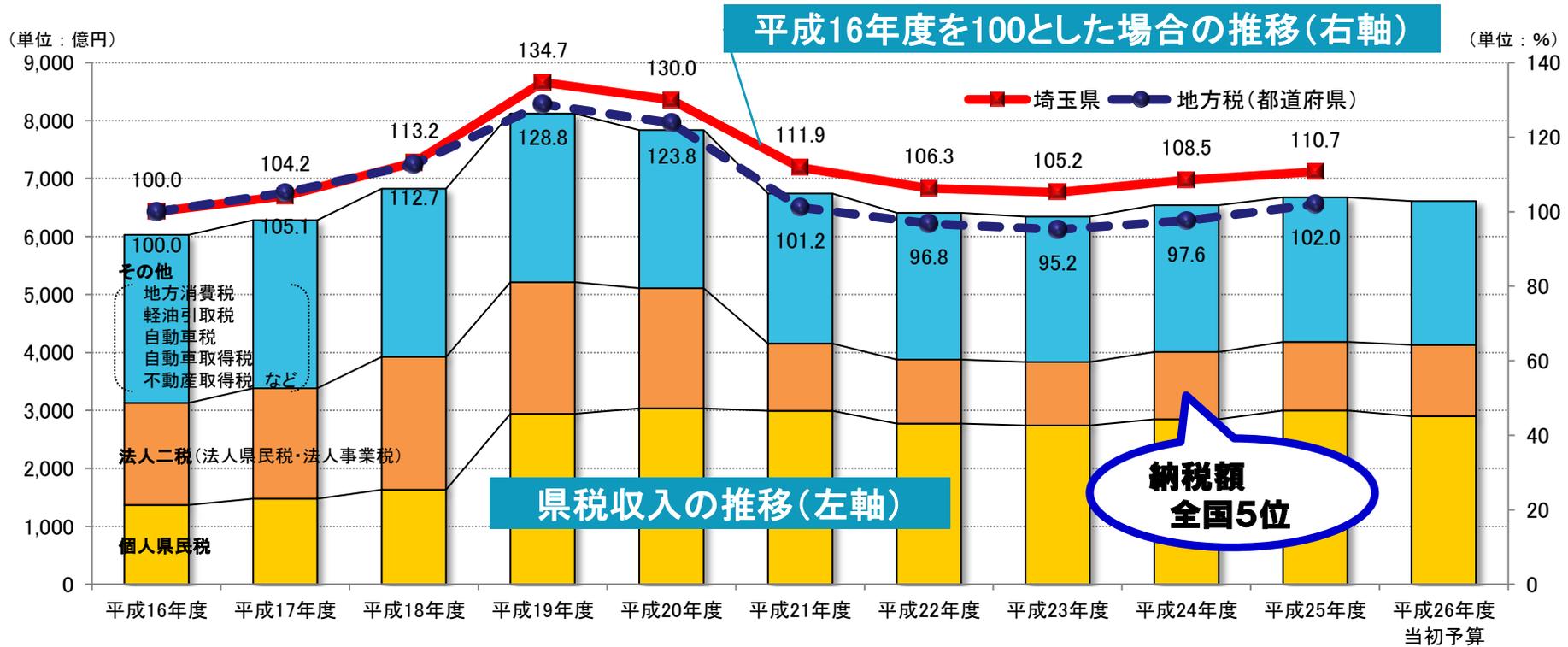


「地方債」の内訳



県税収入の推移 ~常に安定的な財源を確保~

- 全国5位の税収を確保 全国トレンドと比較して、安定した県税収入を確保
- 平成25年度普通会計決算では、対前年度比133億円(+2.0%)の増収
- 株式市場の活性化等により個人県民税、工業等の業績好調により法人事業税が増収



税額	6,029	6,282	6,824	8,121	7,839	6,744	6,408	6,344	6,541	6,674 (6,490)	6,612
伸び率	4.2	4.2	8.6	19.0	▲3.5	▲14.0	▲5.0	▲1.0	3.1	2.0	-

※税額は地方消費税清算前 平成25年度までは一般会計決算ベース(平成25年度の()内は当初予算)

県税収入の特徴 ~バランス良く、回復力の強い税収~

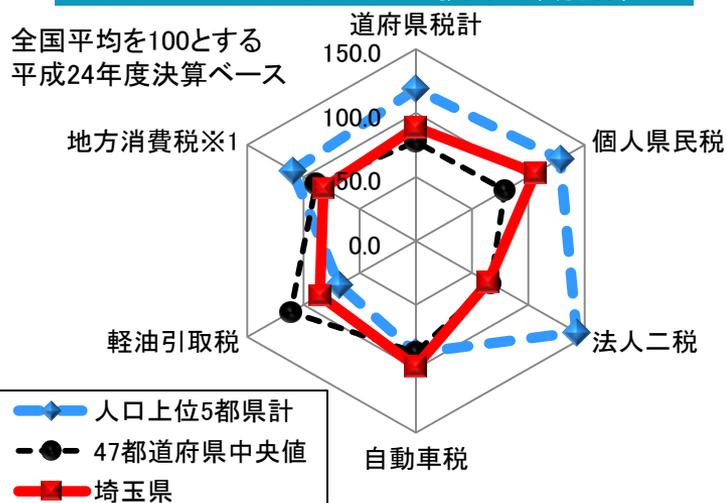
- 個人県民税、法人二税、地方消費税は全国5位、自動車税は4位、軽油引取税は3位
- 人口一人当たりの税収額に比較的偏在性が少ない
- 企業誘致による操業件数増加で、リーマンショック後の法人関係税の落込みをいち早く回復

税目別税収額全国順位と税収額合計に対する割合 ※平成24年度決算ベース

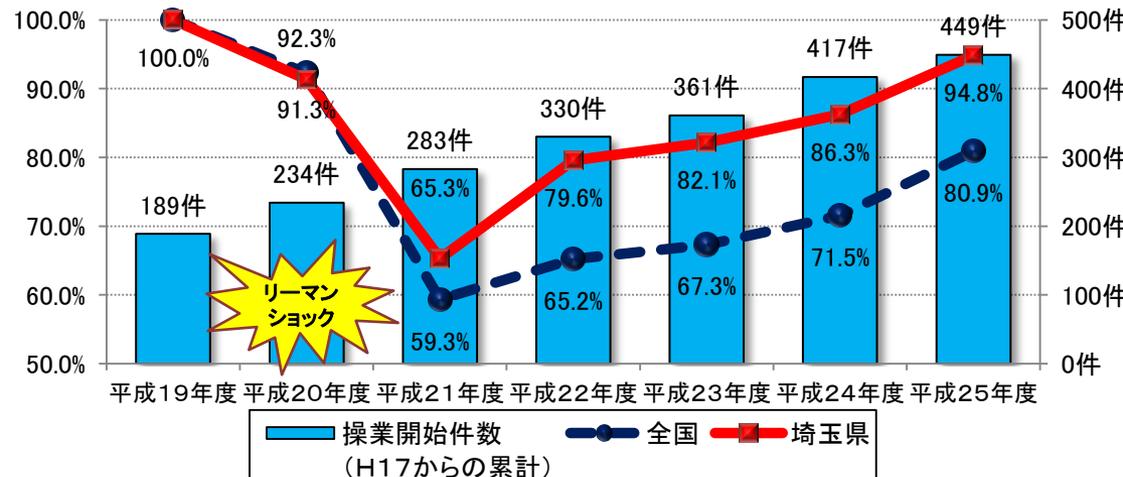
合計※1	個人県民税	法人二税	自動車税	軽油引取税	地方消費税※1
1 東京都	東京都 (28.6%)	東京都 (29.9%)	愛知県 (12.6%)	北海道 (11.7%)	東京都 (15.8%)
2 神奈川県	神奈川県 (44.0%)	大阪府 (26.0%)	東京都 (4.1%)	愛知県 (6.0%)	大阪府 (19.0%)
3 大阪府	愛知県 (33.9%)	愛知県 (24.0%)	神奈川県 (9.6%)	埼玉県 (6.8%)	神奈川県 (16.1%)
4 愛知県	大阪府 (29.0%)	神奈川県 (19.8%)	埼玉県 (13.5%)	大阪府 (4.1%)	愛知県 (16.8%)
5 埼玉県	埼玉県 (43.5%)	埼玉県 (17.7%)	大阪府 (7.5%)	東京都 (1.5%)	埼玉県 (16.7%)

※1地方消費税清算後

人口一人当たりの税収額指数



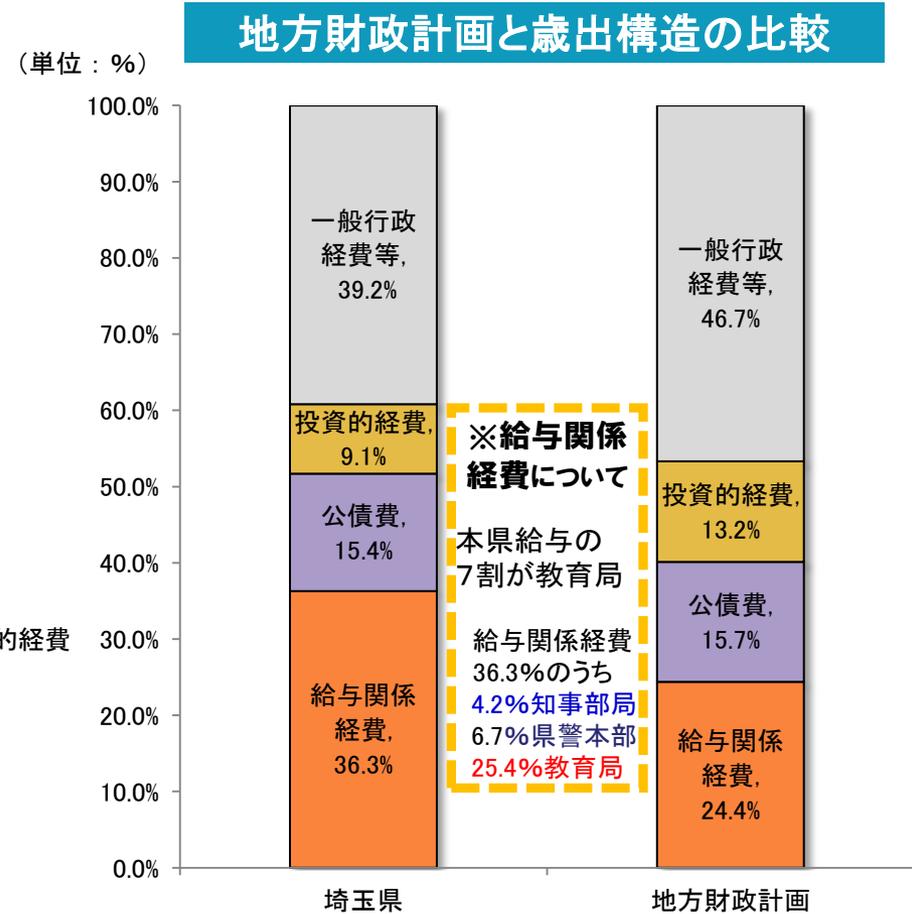
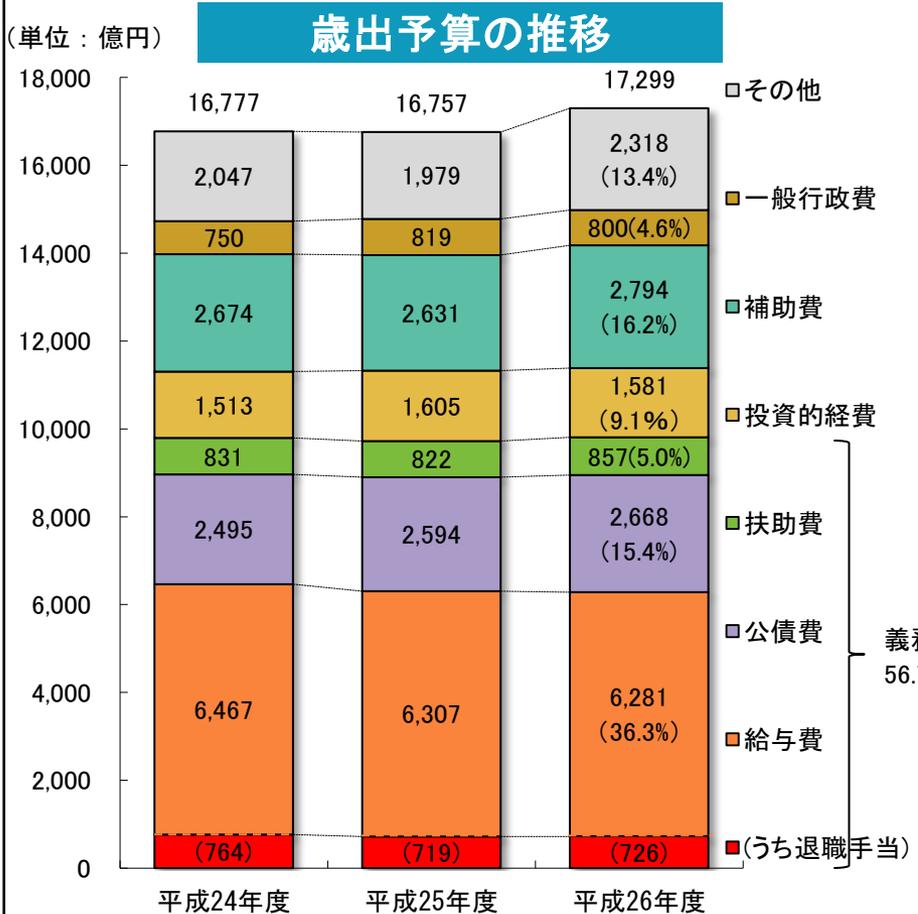
企業誘致による操業開始件数と法人関係税収※2のトレンド比較



※2 法人関係税については、平成19年度～平成20年度は法人二税、平成21年度以降は地方法人特別譲与税を含む

平成26年度一般会計予算(歳出)

- 給与費全体では 対前年度比26億円の減額
- 投資的経費は、特別養護老人ホームや保育所の施設整備など、緊急性が高く、民間投資を呼び起こす投資効果の高い事業に重点化



普通会計決算の状況

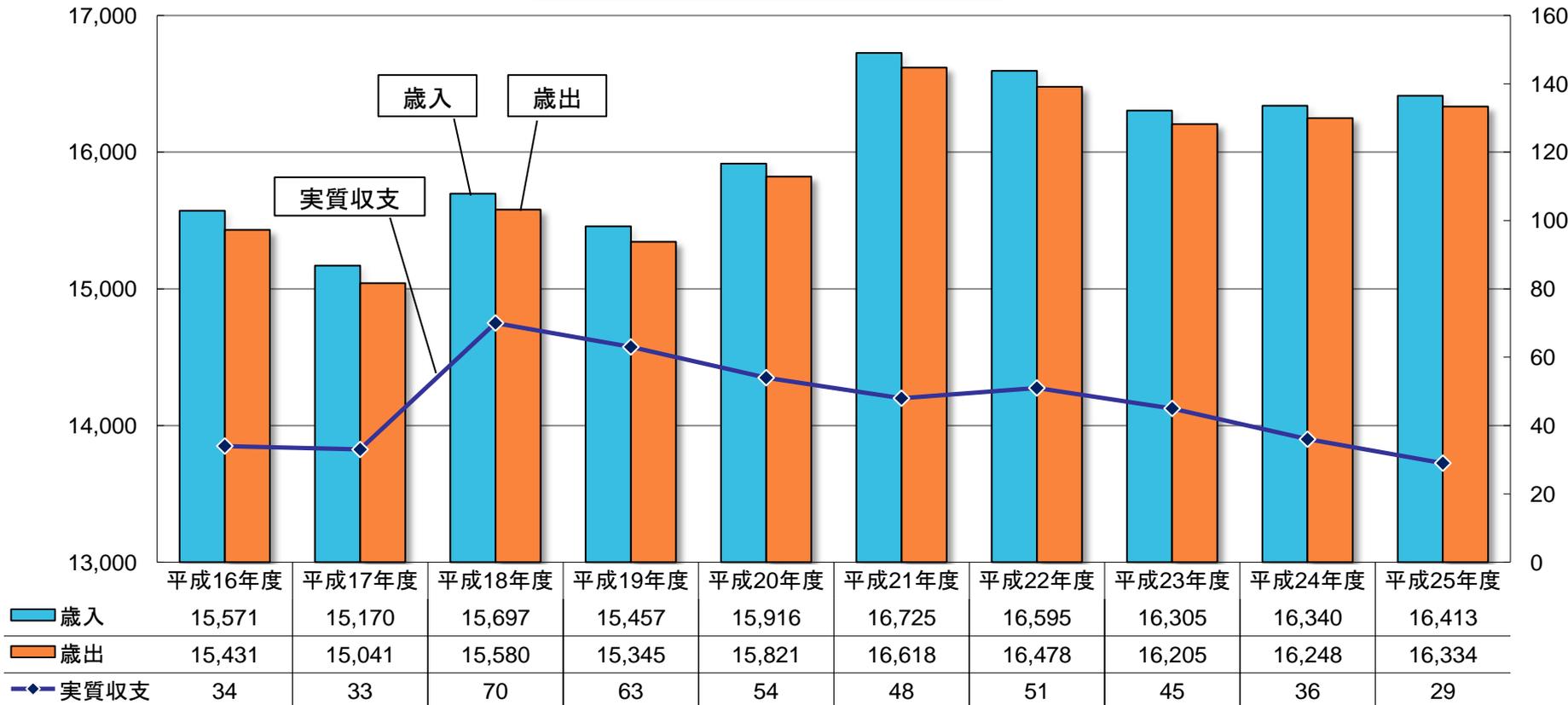
- 平成25年度普通会計の決算規模は、歳入歳出ともに2年連続の増
- 形式的収支及び実質収支※は継続して黒字を維持

※実質収支：歳入と歳出を単純に差し引いた額（形式的収支）から、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額

左軸：歳入、歳出額
（単位：億円）

普通会計決算の推移

右軸：実質収支額
（単位：億円）



（注）平成18年度以降の実質収支は、新基準により算出

健全化判断比率等の状況

- 実質赤字、連結実質赤字はなく、各公営企業会計の資金不足も生じていない
- 実質公債費比率、将来負担比率は改善し、早期健全化基準を大幅に下回る水準
- 経常収支比率は前年度比1.2ポイントの改善

財政指標

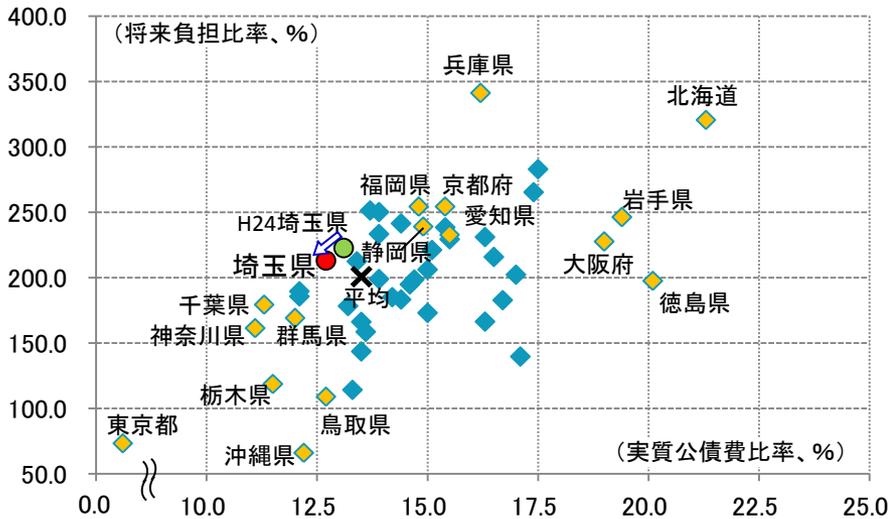
健全化判断比率(%)

経常収支比率(%)

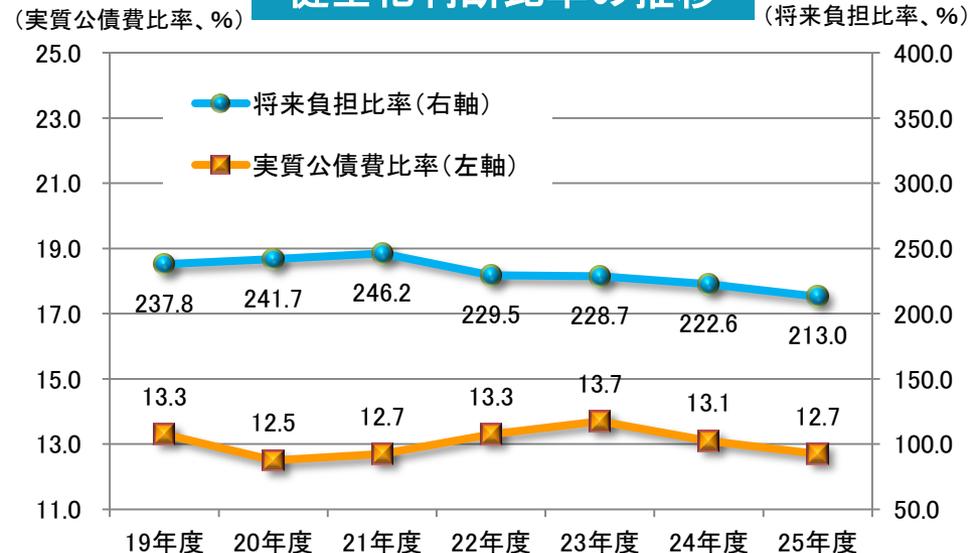
	実質赤字比率		連結実質赤字比率		実質公債費比率		将来負担比率		経常収支比率(%)	
	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度
	埼玉県	—	—	—	—	12.7	13.1	213.0	222.6	94.8
全国順位	—	—	—	—	9位	10位	28位	30位	—	41位
全国平均※	—	—	—	—	13.5	13.7	200.7	210.5	93.0	94.6
(早期健全化基準)	(3.75)		(8.75)		(25.0)		(400.0)			

※全国平均は速報値、加重平均

健全化判断比率の他県との比較



健全化判断比率の推移



償還財源の確保と県債残高の適正な管理

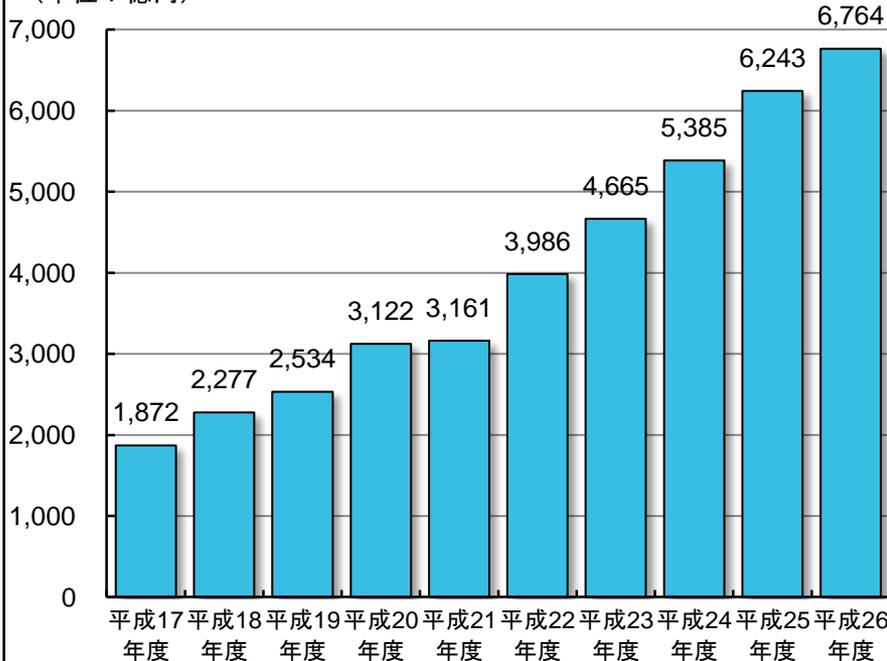
- 平成4年度の満期一括償還債発行時から、一時的な公債費の増加に備え、ルールに則り、毎年度、県債管理基金に償還財源を計画的に積み立て
- 毎年度の積立額は、発行額の30分の1に設定

- 地方交付税の振替である臨時財政対策債等を除いた県で発行額をコントロールできる県債については、適正に管理することで着実に残高は減少
- 県民1人当たりの県債残高は 約51万円※
全国5位の低い水準

※平成25年度普通会計決算

県債管理基金残高(償還財源充当分)の推移

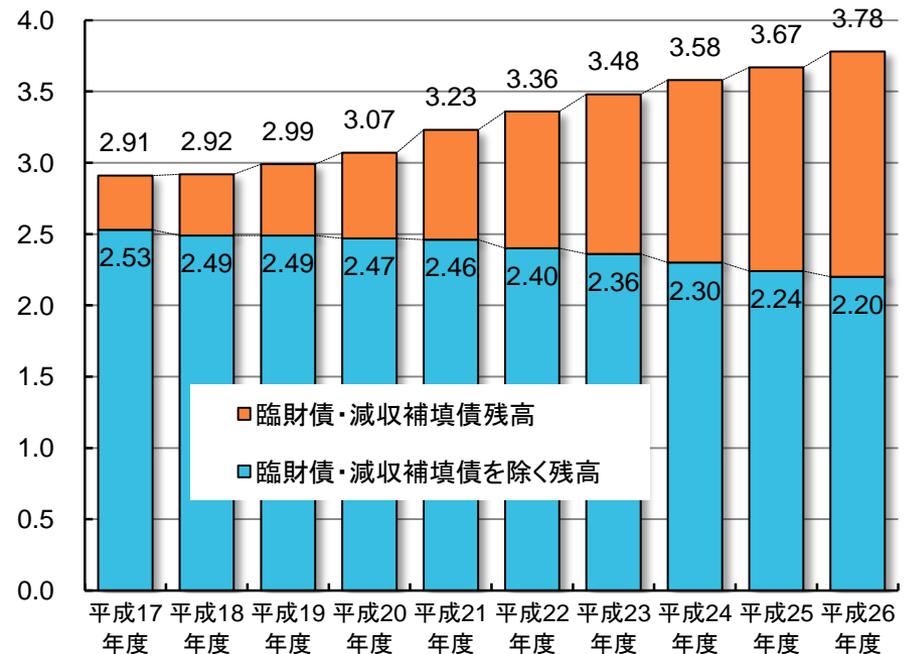
(単位: 億円)



平成17年度～平成25年度: 決算、平成26年度: 当初予算

一般会計県債残高の推移

(単位: 兆円)





**埼玉県における
起債運営の基本的な考え方**

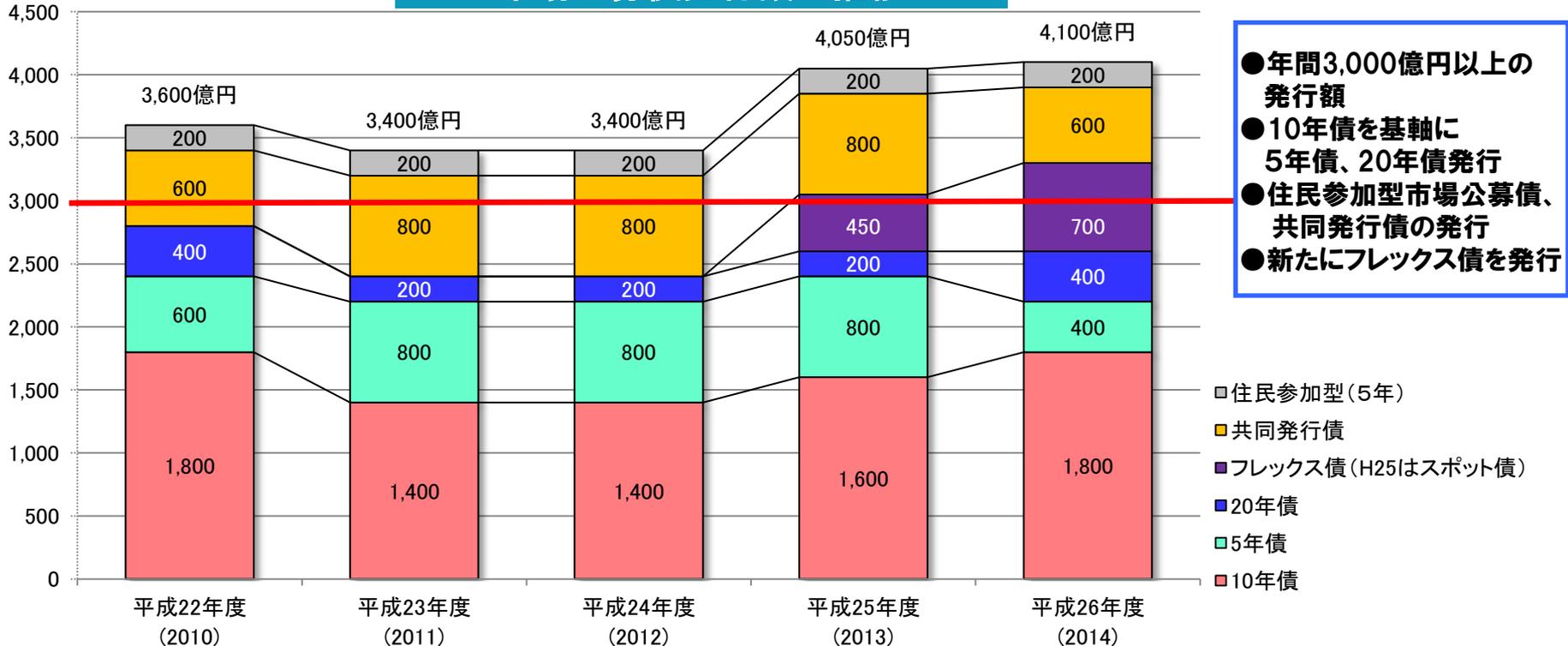
起債運営の基本方針

安定的な資金調達

- ・市場公募債の発行額の確保と発行ロットの維持
- ・超長期債の発行等、市場環境を踏まえた年限の多様化
- ・IR活動の充実と格付けの取得による、丁寧な市場との対話

(単位: 億円)

市場公募債発行額の推移



平成26年度（2014年度）市場公募債発行計画

- 定例債は5年債、10年債を組み合わせる平準発行
- 20年債を400億円に増額するとともに、新たに600億円のフレックス債を設定し、市場環境や投資家需要に応じて機動的に発行（※年度途中でフレックス債を700億円に増額）

（単位：億円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10年債	200	200	200	200		200			200	200	200	200	1,800
5年債	200										200		400
20年債		200					200					400	
フレックス債		100 20年債増額		300 30年債			300 20年定時 15年債						700
共同発行債 (10年)	100	100			100	100			100		100		600
住民参加債 (5年)			60		80				60				200
合計	500	600	260	500	180	300	300		360	200	500	200	4,100

※発行時期、年限、金額等は、変更となる場合がある。20年債の発行月が未定のため各月合計の積み上げと年限別の合計は一致しない。

埼玉県全国型市場公募地方債の概要

- 発行額(全国3位)と発行ロット(200億円以上/回)の維持に努め、流動性を確保
- 機動的に発行する主幹事方式と、年間を通して平準発行するシ団プレマ方式を併用
- 定例債は月初発行で適正プライス形成、投資家目線の「払込日応答償還」「パー発行」

全国型市場公募地方債(個別債)発行実績 (2013.4~2014.10)

フレックス債[主幹事方式] 上段:発行額(単位:億円)、下段:国債カーブ比スプレッド(20年定時償還債はミッドスワップ比)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成26年度(2014)		100 (20年増額)		300 (30年)			300 (20年定時) (15年)					
		6.0bp		15.0bp			▲3.0bp 2.0bp					
平成25年度(2013)						300 (30年)			150 (20年定時)			
						16.0bp			11.0bp			

20年債[主幹事方式] 上段:発行額(単位:億円)、下段:国債カーブ比スプレッド(月差除き)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成26年度(2014)		200							200			
		6.0bp										
平成25年度(2013)		200										
		5.0bp										

10年債[シ団プレマ方式] 上段:発行額(単位:億円)、下段:国債カーブ比スプレッド(幹事行算出参考値、月差除き)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成26年度(2014)	200	200	200	200		200			200	200	200	200
	6.0bp	6.0bp	5.0bp	4.5bp		3.0bp						
平成25年度(2013)	400		200	200		200			200		200	200
	2.0bp		2.0bp	3.0bp		4.0bp			6.0bp		6.0bp	6.0bp

5年債[シ団プレマ方式] 上段:発行額(単位:億円)、下段:国債カーブ比スプレッド(幹事行算出参考値、月差除き)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成26年度(2014)	200										200	
	2.5bp											
平成25年度(2013)		200			200		200			200		
		3.0bp			3.0bp		3.0bp			3.0bp		

主幹事方式

平成26年度見込:1,100億円

- ・年度主幹事制採用
- ・フレックス債
平成26年度から導入
- ・20年債
平成17年度から年1回程度発行

ロット確保ニーズの強い
大口投資家にも対応

シ団プレマ方式

平成26年度見込:2,200億円

- ・銀行等13行、証券13社で引受
- ・5年債
平成22年度から導入

※このほか、住民参加型市場公募地方債及び共同発行市場公募地方債を発行

県債の格付と起債評価の状況

- 埼玉県債は格付投資情報センター(R&I)から格付「**AA+**」を取得
- 格付取得により債券市場における信用力を高め、安定的な資金調達に取り組む
- 起債にあたっては、時期の早期リリースと市場との対話を重視

<信用格付業者> 株式会社格付投資情報センター(R&I)

<格付> **AA+** : 信用力は極めて高く、優れた要素がある～平成20年(2008年)以降、同水準を確保

<方向性> **安定的** : 格付けは当面変更の可能性が低い

<格付理由(概要)>

- 全国有数の工業県。首都圏の中央に位置し交通インフラが充実。名目県内総生産額は都道府県の中でも上位。企業誘致により多種多様な製造業が集積。人口流入が続き、平均年齢も若い。
- 通常債に限れば県債残高は着実に減少。県民一人当たりの県債残高は都道府県の中でも少ない。
- 上田知事のもと域内経済の活性化と県民サービスの向上、財政健全化に配慮したバランスある県政運営。

▶主幹事方式30年債(平成26年7月発行)に対する評価(CAPITAL EYEから抜粋)

- ・最終的な需要は700億円近くに達している。
- ・フレックス枠を活用した機動的な起債で**投資家ニーズに応える**ことができた。

▶主幹事方式15年債(平成26年10月発行)に対する評価(CAPITAL EYEから抜粋)

- ・利回りを重視して投資年限を伸ばす**ニーズをつかんで順調に販売**された。
- ・最終的な需要は発行額の2.3倍程度、延べ160件が出動した。

インターネットIR情報、お問い合わせ先

埼玉県債

検索

□ 埼玉県債投資家向け説明会（平成26年7月23日開催）

100名を超える機関投資家様ほかの皆様にご来場頂き開催した「埼玉県債投資家向け説明会」の様子を御覧いただけます。

うえだ きよし

上田清司埼玉県知事が県政の基本方針について、
「～トップランナーとして日本再生をリード～」と題し熱く語ります。



□ インターネットIR（平成26年6月18日収録）

対話形式でわかりやすく、埼玉県のポテンシャルや起債運営について紹介するインターネット放送です。



お問い合わせ先

埼玉県企画財政部財政課 民間資金担当

TEL:048-830-2178 FAX:048-830-4713

E-mail: a2150-01@pref.saitama.lg.jp

URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/site/saitamakensai/>



埼玉県マスコット「コバトン」

ありがとうございました。